

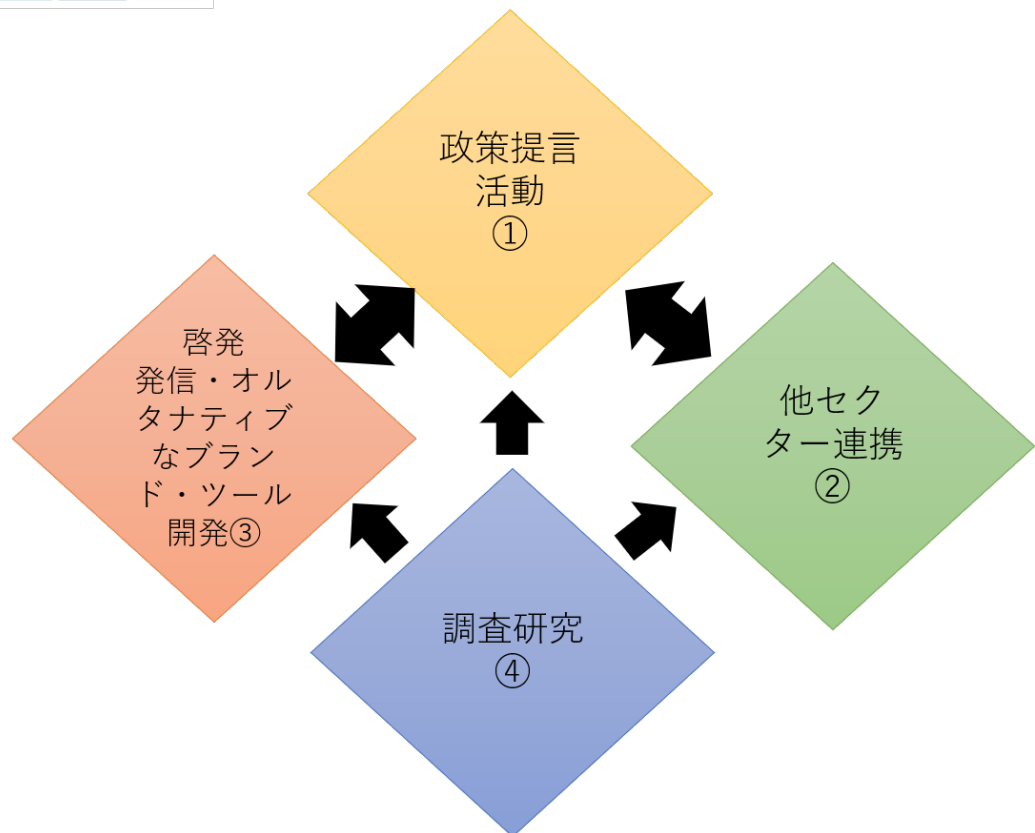
2019 年度事業報告

ミッション：

「誰一人取り残さない」という SDGs の理念に則り、全ての人々が、貧困がもたらす生命や生活の危機及び社会的排除から解放され、人間として尊厳をもって生きることのできる、経済・社会・環境の三側面が統合された持続可能な世界の実現に寄与すること。

<事業の柱>

1. SDGs 達成のための政策提言
2. SDGs 達成のための市民社会と民間企業、政府、研究機関、国際機関などとの連携の強化
3. SDGs 達成のための調査・研究
4. SDGs の普及啓発に関わる事業



＜黒田かをり 前代表理事 メッセージ ～2019 年 7 月 26 日退任＞

2020 年は、SDGs 開始から 5 年目を迎える節目の年でした。2019 年の国連の進捗報告では、2030 年までに SDGs を達成する軌道にはまだ乗っておらず、実施のペースを劇的にあげていく必要性が指摘されていました。

ところが、新型コロナ・ウィルスの感染拡大により世界の景色は大きく様変わりしました。いまだ終息の兆しは見えておりませんが、世界中で経済、雇用、社会、福祉などに大打撃を与えています。とりわけ、社会的に弱い立場に立たされている人たちに深刻な被害がもたらされています。

コロナとの共生あるいはポスト・コロナの社会は SDGs とパリ宣言に沿ったものに、という議論が世界のあちこちで湧き上がっています。日本では、SDGs がややもすれば「ファッション化」していましたが、今こそ、「誰一人取り残されない」という理念とともに SDGs の本質が再認識されるときであろうと思います。

持続可能で包摂的な社会を実現するために市民社会の果たす役割がこれまで以上に大きくなっていると思います。SDGs 市民社会ネットワークならびに構成団体の皆様には、この困難な時期の日々の活動に敬意を払うとともに、一層の政策への働きかけや世論喚起にも期待しております。

＜大橋正明 共同代表理事 メッセージ 2019 年 7 月 26 日～＞

私はそろそろ現役引退の年齢なのに、黒田前代表理事の後を三輪と一緒に 2019 年夏に向こう見ずにお引き受けしたのは、以下の二つの動機からです。

ひとつは、SDGs ジャパンの数人の幹部の方が熱く要請してくださったからです。特に SDGs ジャパンをこれまで中心で支えたり引っ張ってきた方たちの交代が、様々な理由で求められる時期であることを意識しました。このことが、第一の動機です。

もうひとつは、SDGs 自体への疑問です。一昨年「SDGs を学ぶ」という本を出版したのですが、その際に理解したことは、SDGs はこの地球がどうして持続不可能になったのか、という構造的な原因を述べていないこと、「誰も取り残さない」と宣言しておきながら、例えばバングラデシュに百万人程滞在しているロヒンギャ難民にとって、SDGs がどういう意味を持つのか、という疑問を持ったことです。そうした欠陥や疑問を、社会に問いかける必要があると考えたのです。

SDGs を市民が賢く使って、COVID-19 で明らかになった内外の脆弱層の事に、もっと焦点を当てていきたいと願っています。

＜三輪敦子 共同代表理事 メッセージ 2019 年 7 月 26 日～＞

2019 年、共同代表理事をお引き受けしたときには夢にも思わなかった状況を前にすることになりました。SDGs 達成に向けた「行動の 10 年」の最初の年に起こった、このパンデミックは、SDGs にとって最大の挑戦でもあります。

今回のパンデミックにより、これまでの私たちの暮らし方、生産と消費の様式、政府や行政のあり方すべてが根源的に問われていると感じています。それは私たちに変革のチャンスを与えているということでもあるでしょう。ウイルスは人を選びませんが、感染症の予防と対応と克服には深刻で残酷な不平等が存在します。パンデミックへの対応には人権の視点が不可欠ですし、それは「誰一人取り残さずに」SDGs を達成することと重なっています。ずっと存在していたのに見えていなかった様々な不公正を変革する機会でもあります。

この危機を、どこに暮らす誰にとっても、平和で公正で持続可能な社会をつくるためのチャンスにできるかどうか、私たちも問われています。皆さんと力をあわせ、変革の道筋をつくりたいと思います。

■ 2019 年度に実施した事業

1. SDGs の達成のための政策提言

成果：日本政府 SDGs 実施指針の改定に市民社会からの声を反映させることができた。

G20 市民社会プラットフォーム共同事務局を担い、C20 としての政策提言書を首相に對面にて提出することができた。

具体的な事業：

1) SDGs 推進円卓会議への働きかけ

- ①5 月、7 月、9 月、11 月に実施された SDGs 推進円卓会議へ、市民社会構成員 3 名の意見を毎回提出
- ②SDGs 実施指針改定への働きかけとして、円卓会議構成員とともに外務向け会議の実施
 - ・パブリックコメントの書き方を公表し、より多くのコメントを集める。SDGs 市民社会ネットワークとしても意見を表明した。（ウェブサイトにも公表）
 - ・9 月 6 日には、円卓会議有志が発起人となり実施した「SDGs 実施指針改定に向けたステークホルダー会議」は、慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG ラボと共同で運営事務局を担い、200 名強の参加者を得て実施した。その成果は、実施指針改定版本文に記載され、SDGs 推進におけるマルチステークホルダーの重要性を後押しすることとなった。
 - ・2 月 4 日には、「SDGs 実施指針改定 総括フォーラム」をフューチャーアースと連携し実施、円卓会議構成員メンバー 14 名中 11 名の参加を得て実施することができた。

③行政、政党への SDGs 推進の働きかけ

- ・公明党 SDGs 委員会と勉強会を実施
- ・自民党 SDGs 外交議連とともにニューヨークのハイレベル政治フォーラム中に会議をもち、勉強会を実施
- ・立憲・国民と SDGs 勉強会を実施
- ・立憲民主党党大会「立憲フェス 2020」に SDGs 市民社会ネットワークとして出展

2) SDGs 市民社会ネットワークの会員の参画を最大限生かした政策提言

①1)②のための、ユニット活動の活性化

11 ユニットとともに進める政策提言のための会議（事業統括会議）を毎月実施した。それにより、ボトムアップアクションプランの準備、政党との SDGs 意見交換会、7 月のハイレベル政治フォーラムへの参加とサイドイベントの実施、9 月の国連 SDG サミットへの参加とサイドイベントを実施した。

3) SDGs に取り組む各国の市民社会とのつながりと連携を最大限生かした政策提言

- ①G20 市民社会プラットフォーム等でつながりのある、各国市民社会との連携による C20 の実施（4 月 21～23 日東京/6 月大阪）
 - ②次回開催国。サウジアラビアへの引継ぎを行った。
- ※詳細報告書別添

その他：3 月 27 日声明発表 「今こそ、SDGs の理念に基づく対策を =「新型コロナウイルス感染症」対策に関する SDGs 市民社会ネットワークの声明=」

2. SDGs 達成のための日本の市民社会からの提案による具体的な行動、活動の実践の整備

具体的な事業：

- 1) 国際会議における SDGs 達成に向けたサイドイベントへの協力
 - ①5 月ドイツで実施される SDGs 推進イベントへの参画
 - ②NY で実施される 7 月の HLPF への参画
 - ③NY で実施される 9 月の国連総会への参画→開発ユニット、環境ユニット、社会的責任ユニット、国際保健ユニット、ジェンダーユニット等と実施
- 2) 北東アジア市民社会フォーラムへの参加
- 3) APFSD への参加

3. SDGs 達成のための調査・研究

- 1) 市民社会における SDGs の認知度調査（インターネット調査もしくはアンケート調査）を実施しようとしたが、企画と調整までにとどまった。
- 2) 市民社会からの SDGs の具体的なケーススタディを取り上げようと、貧困・格差に関するインタビュー調査を実施した。（2020 年度事業に継承）

4. SDGs の普及啓発にかかわる事業

- 1) 定期的なニュースレターの発信を行い、SDGs 市民社会ネットワークが主催したイベントの告知、報告を行った
- 2) ウェブサイト、FB の定期的な更新による発信を行った
- 3) 講師派遣事業を行った
 - ①講演 106 回（講演のみ 91 回、
基調講演とパネルディスカッションコーディネーター8 回、

パネリストのみ 8 回)

②取材対応 13 回

日本文化厚生農業協同組合連合会「文化連情報」編集部
株式会社フラッグ
連合東京（30 周年記念メッセージ）
PwC サステナビリティ
リクルートホールディングス
大正大学機関紙
聖教新聞社
特定非営利活動法人市民社会創造ファンド
上毛新聞
AERA
京都精華大学入試広報誌
シャプラニール機関紙『南の風』
大阪ボランティア協会機関紙『Volo』

③執筆対応 22 回（連載への対応含む）

日経 BP が企画・制作している Web メディア「未来コトハジメ」へのリレーコラム
（2019 年 11 月～）

JA グループ一般社団法人家の光協会発行月刊誌『家の光』の「わたしたちの
暮らしと SDGs」のコーナーに毎月執筆（2019 年 4 月～）

4)市民社会によるオルタナティブなブランドやツールづくり

- ①冊子『基本解説そうだったのか。SDGs』の販売 2,279 冊の配布と販売
- ②会員向け SDGs バッジの製造、販売 395 個の配布と販売

5)その他

- ①10 月 31 日（木）18:00～21:00 「SDGs を語る会」を実施

登壇：黒田かをりさん、大西連さん、今田克司さん、長島美紀さん

場所：地球環境パートナーシッププラザ

- ②SDGs 実施指針改定および、SDG サミットによる宣言を受け、『基本解説そうだったのか。SDGs』を更新し、『基本解説そうだったのか。SDGs 2020』の企画、編集を行なった。（2020 年 5 月 25 日発刊）

会員団体とともに、市民社会から見た 2016 年から 4 年間の進捗解説や今後への提言を書き下ろした。

6) パートナースhip事業

①阪急阪神ホールディングスグループが推し進める社会貢献活動「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」において、企画されている「SDGs トレイン」の中吊りポスターの作成、監修、助言を受託にて実施。30 種類のポスターを共同制作した。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/sdgstrain/gallery.html>

■ネットワークの管理・運営に関する活動

1. 定時社員総会の実施

日 時：7 月 26 日（金）16:00～17:00

- ・2018 年度事業報告、決算の承認
- ・役員の選出
- ・役員報酬の総額について

会 場：浅草橋ヒューリックカンファレンス ROOM 1

臨時総会の実施

日時：2020 年 1 月 20 日（月）10:00～10:30

会場：SDGs 市民社会ネットワーク 2 階会議室

議案：定款変更（住所変更）

■会員

（単位：団体）

種別	2017 年度末	2018 年度末	2019 年度末
正会員	5 1	6 6	7 4
ネットワーク会員	3	3	3
情報会員	1 9	3 4	3 3
企業会員	0	3	8
団体会員	3	4	6
合計	7 6 団体	1 1 0 団体	1 2 4 団体

2. 理事会の実施

日 時：5 月 21 日（火）13:30～16:30

会 場：会場（ウィメンズプラザ）

- ・決算案の承認

- ・事業報告案の承認
- ・役員改選の方向性の確認

日 時：7月12日（金）

書面理事会

- ・決算案の承認
- ・事業報告案の承認
- ・顧問の承認
- ・理事の承認

日 時：7月26日（金）17:00～17:15

会 場：浅草橋ヒューリックカンファレンス

- ・代表理事の互選

新体制後、日程等を調整し、実施

日 時：9月27日（金）18:00～20:00

会 場：日本 NPO センター地下会議室

- ・上半期事業報告
- ・新体制に向けた意見交換

日 時：12月18日（水）15:00～17:30

会 場：SDGs 市民社会ネットワーク2 階会議室

- ・顧問の TOR についての審議
- ・臨時総会についての審議

日 時：3月19日（水）10:30～12:30

会 場：SDGs 市民社会ネットワーク2 階会議室

- ・2019 年度決算見込み、2020 年度事業計画、予算の審議
- 事業統括会議との抱き合わせや、フォーラムとの組み合わせを模索する

3. 事務局・業務執行理事会議

2019 年度役員体制変更により、8 月から3 月までに、共同代表理事の呼びかけにより、事業統括会議進行役および事務局と合同で業務調整会議を行った。

日 時：10月16日（水）16:00～17:45 場所：SDGs 市民社会ネットワーク事務所

日 時：11月25日（月）15:00～17:00 場所：SDGs 市民社会ネットワーク事務所

日 時：2月21日（金）10:30～12:30 場所：SDGs 市民社会ネットワーク事務所

■特記■

2020 年1月28日 10:00～18:00 理事会・事業統括会議有志による中長期ビジョン会議を実施
SDGs 市民社会ネットワークが取り組む事業について改めて協議し、以下の3つを優先的に取り組む機能とした。

- 1) 政策提言（+評価）
- 2) 人権をベースとした SDGs の推進（人権+教育）
- 3) SDGs を推進する市民社会の底上げ

4. 事業統括会議（毎月開催）

各ユニットの幹事が中心となり、SDGs 市民社会ネットワークの特に政策提言事業における、企画、実施、運営を行うため、進行役を環境、開発、地域、ユース（6 月まで）ユニットから選出し会議を実施した。

6 月までは、G20 市民社会プラットフォームの C20 合同ワーキンググループ会議も合わせて実施した。

4 月 15 日（月）11:30～13:00 場所：日本 NPO センター地下会議室

（10:00～11:30 は、C20 合同ワーキンググループ会議）

5 月 16 日（木）11:30～13:00 場所：日本 NPO センター地下会議室

（10:00～11:30 は、C20 合同ワーキンググループ会議）

6 月 14 日（金）13:00～14:00 場所：ジョイセフ会議室

（14:30～16:00 は、C20 合同ワーキンググループ会議）

7 月 22 日（月）10:00～13:00 場所：日本 NPO センター地下会議室

8 月 23 日（金）10:00～12:00 場所：日本 NPO センター地下会議室

9 月 18 日（水）15:00～17:00 場所：日本 NPO センター地下会議室

10 月 9 日（水）13:30～16:30 場所：日本 NPO センター地下会議室

（13:30～14:30 は実施指針を読む会）

11 月 8 日（金）10:00～12:00 場所：SDGs 市民社会ネットワーク 2 階会議室

12 月 11 日（水）10:00～12:00 場所：SDGs 市民社会ネットワーク 2 階会議室

1 月 20 日（月）10:30～12:00 場所：SDGs 市民社会ネットワーク 2 階会議室

2 月 27 日（金）14:30～16:30 場所：SDGs 市民社会ネットワーク 2 階会議室

3 月 27 日（金）10:00～12:00 場所：SDGs 市民社会ネットワーク 2 階会議室とオンライン

5. 事務局会議（隔週で実施）

■特記■事務局スタッフ体制

事務局長：新田 英理子（2019 年 4 月より）有期雇用契約

アドボカシースタッフ：久保田 将樹（2019 年 7 月 22 日より）有期雇用契約

広報アドバイザースタッフ：長島 美紀（2017 年から継続）業務委託契約

総務・労務・会計スタッフ：鳶 佳代子（2019 年 4 月より）業務委託契約

事務局アルバイトスタッフ：唐木 まりも

（2018 年 6 月 19 日～2019 年 5 月 31 日） アルバイト契約

2019G20 サミット市民社会プラットフォーム共同アシスタント・ディレクター：山口 和美

（2019 年 1 月 8 日～2019 年 7 月 31 日） 業務委託契約

事務局政策提言アドバイザー：前川 龍太

（2019 年 5 月 7 日～2019 年 7 月 31 日） 業務委託契約

6. 団体情報の開示

ウェブサイト、メーリングリスト等を活用し、運営状況に関する団体情報の開示を進めた。

7. 事務所の移転を行った。（10 月 22 日より新事務所）

以上